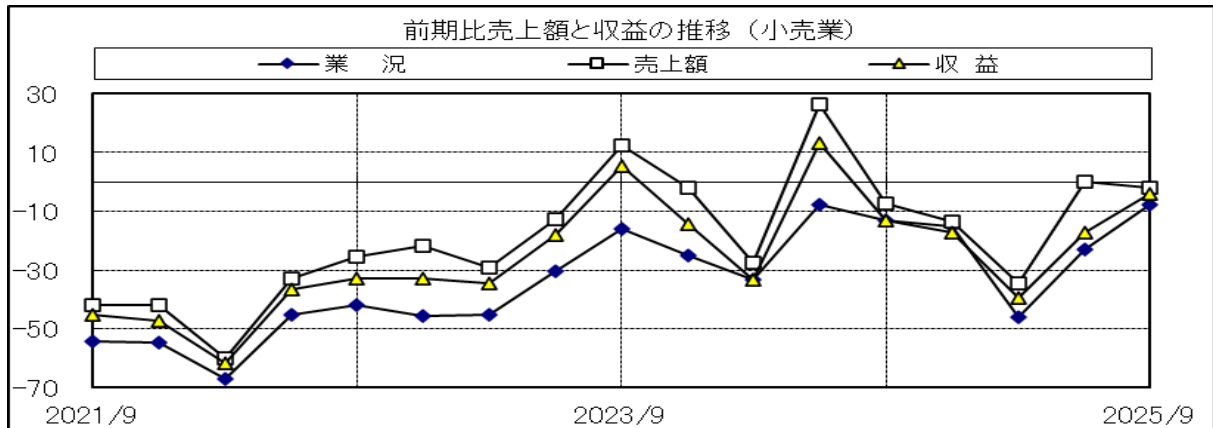


小 売 業 51 企 業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期 見 通 し
業 況	-45.3	-23.1	-7.8	-19.6
売上額	-34.0	0.0	-2.0	-3.9
収 益	-39.6	-17.3	-3.9	-11.8

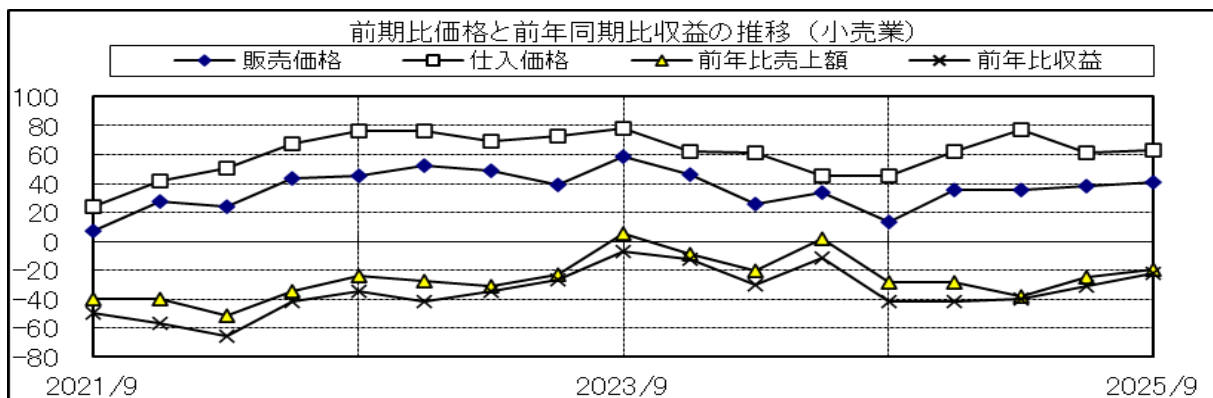
今期の業況判断 D.I. は△7.8 で、前期比 15.3 ポイント上昇、前年(△13.1)比で 5.3 ポイント上昇した。地区別の D.I. は高い順に、えりもが最も高く、次に、三石、様似、広尾、静内と続き、浦河が最も低い水準となった。売上額判断 D.I. は△2.0 で、前期比 2.0 ポイント下降。収益判断 D.I. は△3.9 で、前期比 13.4 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期 見 通 し
販売価格	35.8	38.5	41.2	31.4
仕入価格	77.4	61.5	62.7	43.1

販売価格判断 D.I. は 41.2 で、前期比 2.7 ポイント上昇、前年(13.2)比で 28.0 ポイント上昇した。仕入価格判断 D.I. は 62.7 で前期比 1.2 ポイント上昇、前年(45.2)比で 17.5 ポイント上昇した。業種別では、衣料品、食料品は販売、仕入価格ともに下降。家電品は販売、仕入価格ともに上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期 見 通 し
残業時間	-5.7	-3.8	-3.9	-3.9
人手状況	-17.0	-23.1	-19.6	-21.6

残業時間判断 D.I. は△3.9 で、前期比 0.1 ポイント下降し、残業時間が若干増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D.I. は△19.6 で、前期比 3.5 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

□ 設備投資の動き

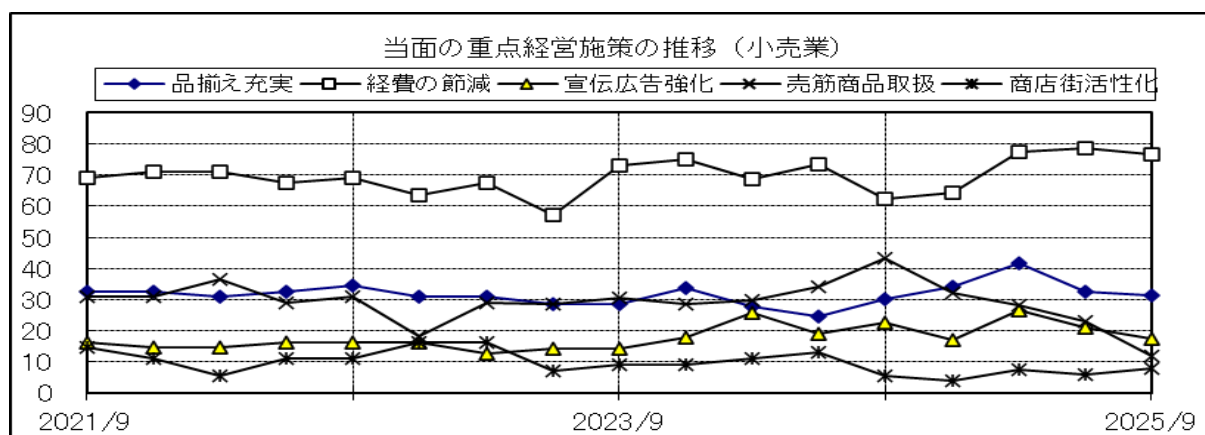
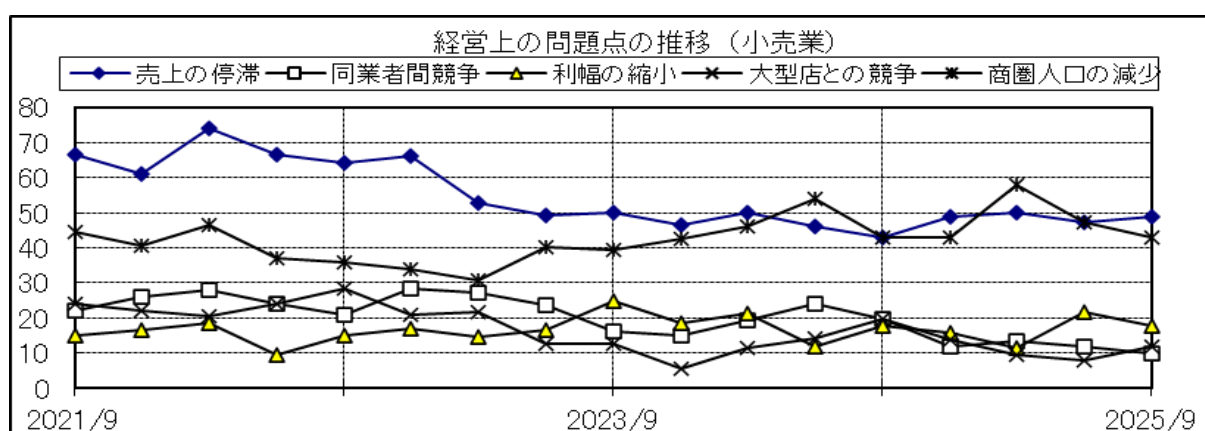
設備投資の充足感を示すD.I.は△9.8で、前期(△5.8)比4.0ポイント下降した。

設備実施企業割合は11.8で、前期(7.7)比4.1ポイント上昇した。設備投資は、前期4社に対し6社の実施となった。来期の設備投資は、4社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が49.0%と最も多く、次に「商圏人口減少」43.1%、「利幅縮小」・「値上要請」が17.6%、「商店街集客力低下」15.7%、「取引先減少」13.7%、「大型店競合」・「人件費増加」・「地場産業衰退」が11.8%、「同業者競合」9.8%、「人手不足」・「販売商品不足」・「諸経費増加」・「店舗狭隘老朽化」・「代金回収悪化」が5.9%、「輸入製品競合」・「取扱商品陳腐化」・「地価高騰」・「駐車場確保難」が2.0%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が76.5%と最も多く、次に「品揃え改善」31.4%、「宣伝広告強化」17.6%、「売れ筋商品取扱い」・「人材確保」が11.8%、「仕入先開拓選別」9.8%、「商店街活性化」7.8%、「教育訓練強化」5.9%、「店舗設備改装」3.9%、「新事業開始」・「営業時間延長」・「パート化」が2.0%となった。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△19.6と、今期比11.8ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は△3.9と、今期比1.9ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D.I.は△11.8と、今期比7.9ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D.I.は31.4と、今期比9.8ポイントの下降を見通している。

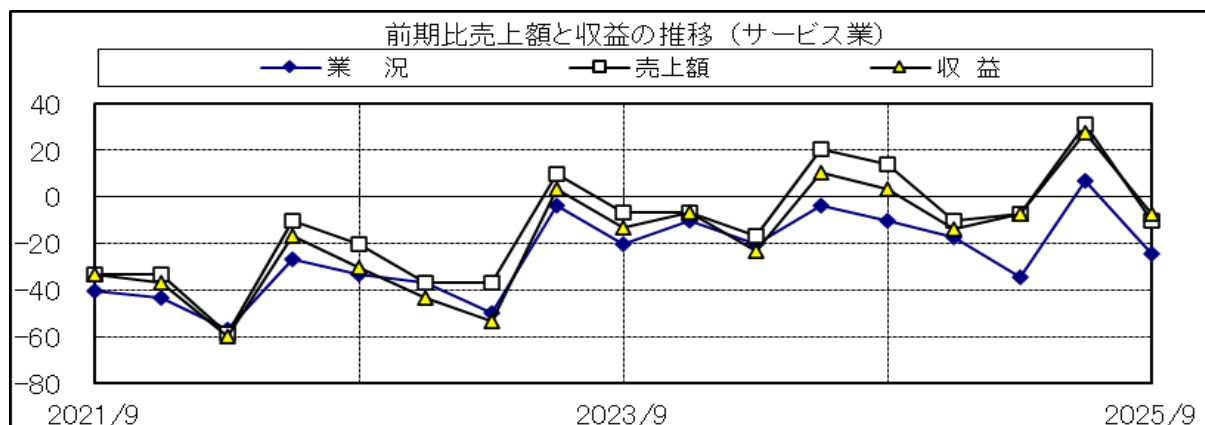
予想仕入価格判断D.I.は43.1と、今期比19.6ポイントの下降を見通している。

サービス業 29 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
業 況	-34.5	6.9	-24.1	-13.8
売上額	-6.9	31.0	-10.3	-3.4
収 益	-6.9	27.6	-6.9	-10.3

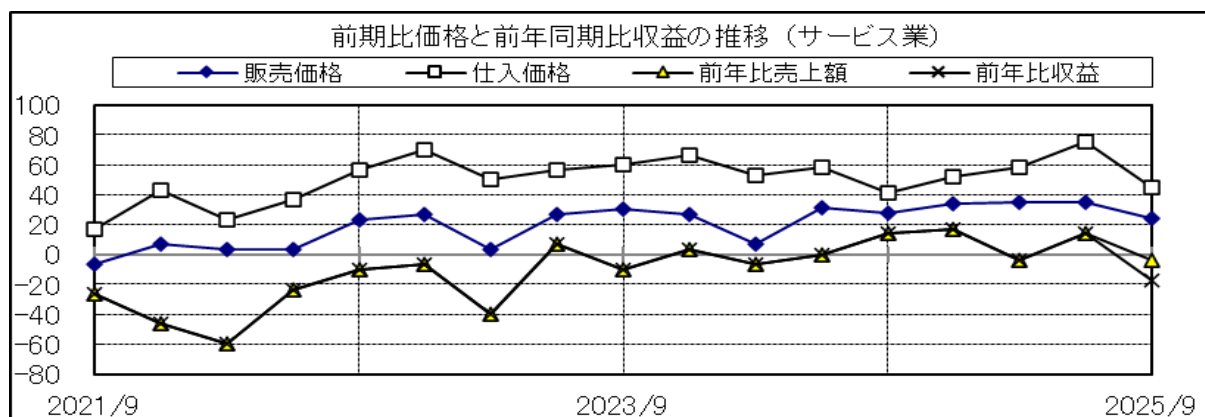
今期の業況判断 D. I. は△24.1 で、前期比 31.0 ポイント下降、前年(△10.3)比で 13.8 ポイント下降した。地区別の D. I. は高い順に、静内・三石が最も高く、次に、えりも、広尾、浦河と続き、様似が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△10.3 で、前期比 41.3 ポイント下降。収益判断 D. I. は△6.9 で、前期比 34.5 ポイント下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
料金価格	34.5	34.5	24.1	13.8
材料価格	58.6	79.3	44.8	34.5

料金価格判断 D. I. は 24.1 で、前期比 10.4 ポイント下降、前年(27.5)比で 3.4 ポイント下降した。材料価格判断 D. I. は 44.8 で、前期比 34.5 ポイント下降、前年(41.3)比で 3.5 ポイント上昇した。業種別の料金価格は、旅館業、洗濯理美容業は横這い、自動車整備業は下降した。材料価格は、旅館業、洗濯理美容業、自動車整備業全てが下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
残業時間	-17.2	0.0	-6.9	-10.3
人手状況	-31.0	-24.1	-27.6	-31.0

残業時間判断 D. I. は△6.9 で、前期比 6.9 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△27.6 で、前期比 3.5 ポイント下降し、人手不足感は強まった。

□ 設備投資の動き

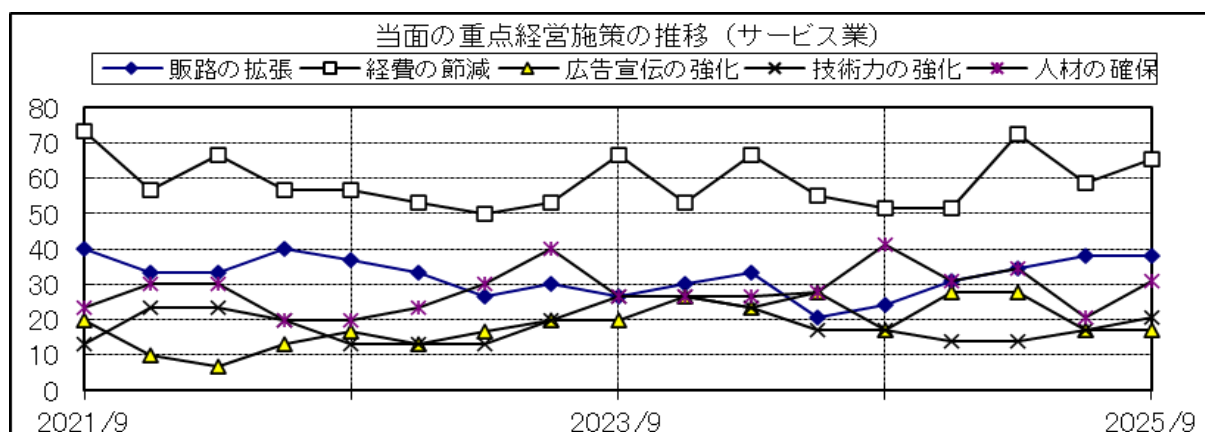
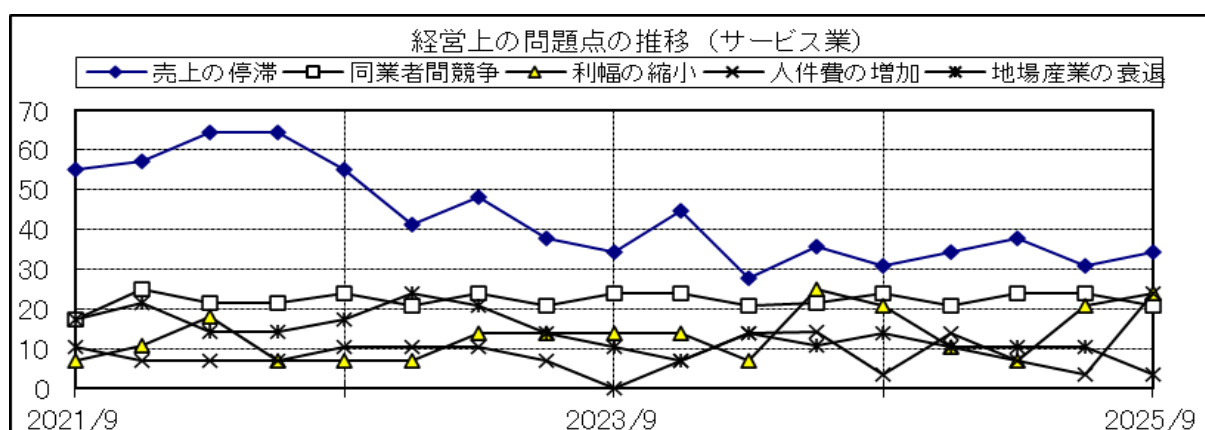
設備投資の充足感を示す D. I. は $\Delta 24.1$ で、前期比 10.3 ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は 20.7 で、前期比 10.4 ポイント上昇した。設備投資は、前期 3 社に対し、6 社の実施となった。来期の設備投資は、5 社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「商圏人口減少」が 37.9%と最も多く、次に「売上停滞減少」・「材料価格上昇」が 34.5%、「利幅縮小」・「人件費増加」が 24.1%、「同業者競争」20.7%、「人手不足」17.2%、「取引先減少」13.8%、「大手企業競争」・「諸経費増加」・「店舗設備老朽化」が 6.9%、「合理化不足」・「料金値下げ要請」・「代金回収悪化」・「天候不順」・「地場産業衰退」が 3.4%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が 65.5%と最も多く、次に「販路拡大」37.9%、「人材確保」31.0%、「技術力強化」20.7%、「宣伝広告強化」17.2%、「提携先確保」・「機械化促進」・「労働条件改善」・「不動産有効活用」が 6.9%、「店舗設備改善」・「パート化」・「教育訓練強化」が 3.4%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は $\Delta 13.8$ と、今期比 10.3 ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断 D. I. は $\Delta 3.4$ と、今期比 6.9 ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断 D. I. は $\Delta 10.3$ と、今期比 3.4 ポイントの下降を見通している。

予想料金価格判断 D. I. は 13.8 と、今期比 10.3 ポイントの下降を見通している。

予想材料価格判断 D. I. は 34.5 と、今期比 10.3 ポイントの下降を見通している。